



新潟県産「メロン」を香港へ3年連続で輸出

東北経済連合会（会長：増子次郎 以下「東経連」）は、新潟商工会議所（会頭：福田勝之）及び新潟県内の関係諸団体の協力を得て、新潟の生産者と九州の地域商社「九州農水産物直販株式会社」（以下「九直」）を結びつけることにより、本年度も九直を通じて赤肉メロンが出荷されることになりましたので、お知らせします。

輸出されるのは、香港で人気のある赤肉メロン（クインシー）約 1,000 玉（1 ケース 4 玉入り×250 ケース）で**昨年に比べ、輸出量が増加しております**（昨年は 800 玉、200 ケース）。

今回の赤肉メロンは、九直を通じて本日（6月24日）生産者から出荷され、香港の大手小売りグループであるデイリーファーム（参考3）で店頭販売されます。昨年は、実際に購入したお客様から「一度食べたら忘れられないほど甘くて、おいしく、食感も硬めでとても気に入った、また購入したい」といった声を頂くとともに、デイリーファームのバイヤーからは「店頭に並べて最初の土日で完売した。来年度はさらに発注数量を増やしていきたい」と高く評価されたことで、現地からの発注量が増加したものです。

メロンの生産者である「株式会社^{さなだ}真田農園」（新潟市西区赤塚）の^{さなだ まさゆき}真田政幸代表は「来年度はさらに数量を出せるよう体制を整えて準備している。新潟の砂丘地帯で作られた糖度の高いメロンを是非、香港の方に味わっていただきたい」と話しています。

今回の輸出事業に協力いただいた新潟商工会議所では、新潟の魅力ある農産物の輸出拡大をオール新潟で推進しており、今回の輸出に関しては、新潟県、新潟市、ジェトロも現地に於てプロモーションを行う予定としております。東経連としても、こうした取組を全面的に支援し、新たな新潟県産品の輸出につなげて参ります。 以上



昨年のメロンを
収穫した際の様子



昨年の真田農園から
出荷された時の様子



昨年の香港での
店頭販売の様子

【本件に関するお問い合わせ】

（一社）東北経済連合会
新潟商工会議所

食・観光グループ
事業部総合政策課

山添
金田

電話：022-397-6528
電話：025-290-4207

1 案件の概要

スケジュール

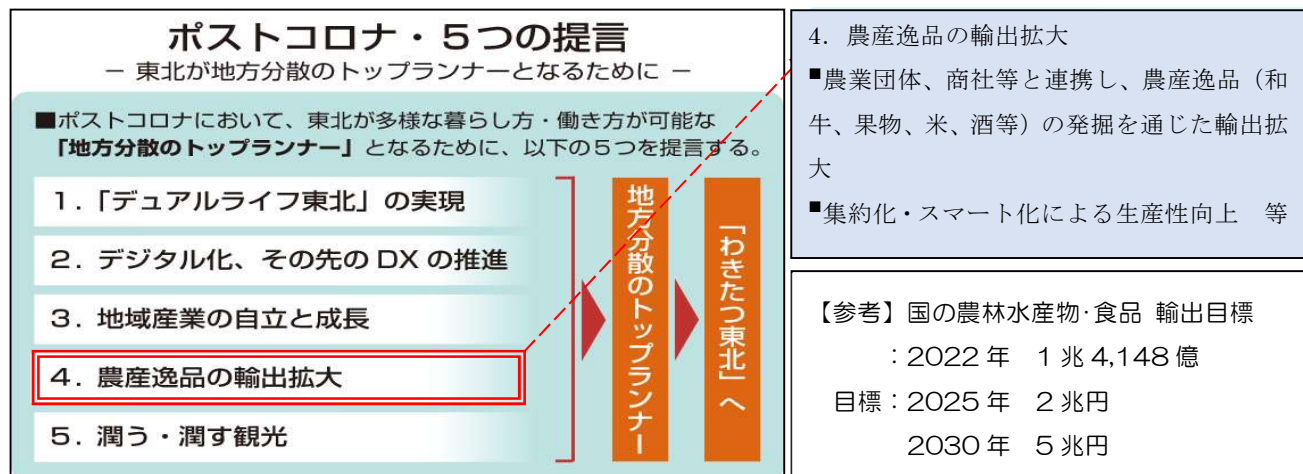
2 東北経済連合会のこれまでの輸出支援実績について

産地	品目	輸出先	年月	量
青森県	モモ	香港	2021年8月	96ケース(5～6玉/ケース)
			2022年8月～9月	合計384ケース(5～6玉/ケース)
	鶏卵		2022年3月	608ケース(15パック/ケース)
	キャベツ		2023年7月	100ケース(8玉/ケース)
			2024年9月～11月	2,430ケース(8玉/ケース)
	メロン		2024年8月	160ケース(5～6玉/ケース)
	ナガイモ		2024年8月～	1,440ケース(400g×10パック/ケース)
岩手県	キャベツ	香港	2023年7月～10月	1,100ケース(8玉/ケース)
			2024年6月～9月	1,870ケース(8玉/ケース)
	米		2023年10月	432ケース(10袋/ケース、2Kg/袋)
			2024年6月	500ケース(10袋/ケース、2Kg/袋)
			2024年12月	100ケース(10袋/ケース、2Kg/袋)
宮城県	サツマイモ	香港	2021年2月	300ケース(10kg/ケース)
			2021年4月	300ケース(10kg/ケース)
			2021年11月～2022年3月	約120トン(10kg/ケース、約12,000ケース)
			2022年11月～2023年3月	約100トン(10kg/ケース、約10,000ケース)
			2023年11月～2024年3月	約30トン(10Kg/ケース、約3,000ケース)
			2024年12月～	約40トン(10Kg/ケース、約4,000ケース)
	魚肉ソーセージ	マレーシア	2021年10月	22ケース(40パック/ケース)
			2022年9月	22ケース(40パック/ケース)
			2023年9月	8ケース(40パック/ケース)
	キャベツ	香港	2021年11月	630ケース(8玉/ケース)
	仙台牛	台湾	2023年7月～2025年3月	12頭/月
			2025年4月	14頭/月
			2025年5月～	18頭/月
秋田県	枝豆	香港	2022年9月	50ケース(20袋/ケース)
山形県	メロン	香港	2019年7月	300ケース(5玉/ケース)
			2021年7月	48ケース(5玉/ケース)
			2022年7月～8月	合計500ケース(4～6玉/ケース)
			2023年7月	合計480ケース(4～6玉/ケース)
			2024年7月	合計610ケース(5～6玉/ケース)
	モモ	シンガポール	2024年8月～9月	合計100ケース(12～16玉/ケース、5Kg/ケース)
	啓翁桜	香港	2023年2～3月	合計245ケース(20束/ケース)
新潟県	メロン	香港	2023年7月	50ケース(4玉/ケース)
			2024年7月	200ケース(4玉/ケース)
			2025年6月～7月	250ケース(4玉/ケース)

3 東北経済連合会の輸出事業の概要

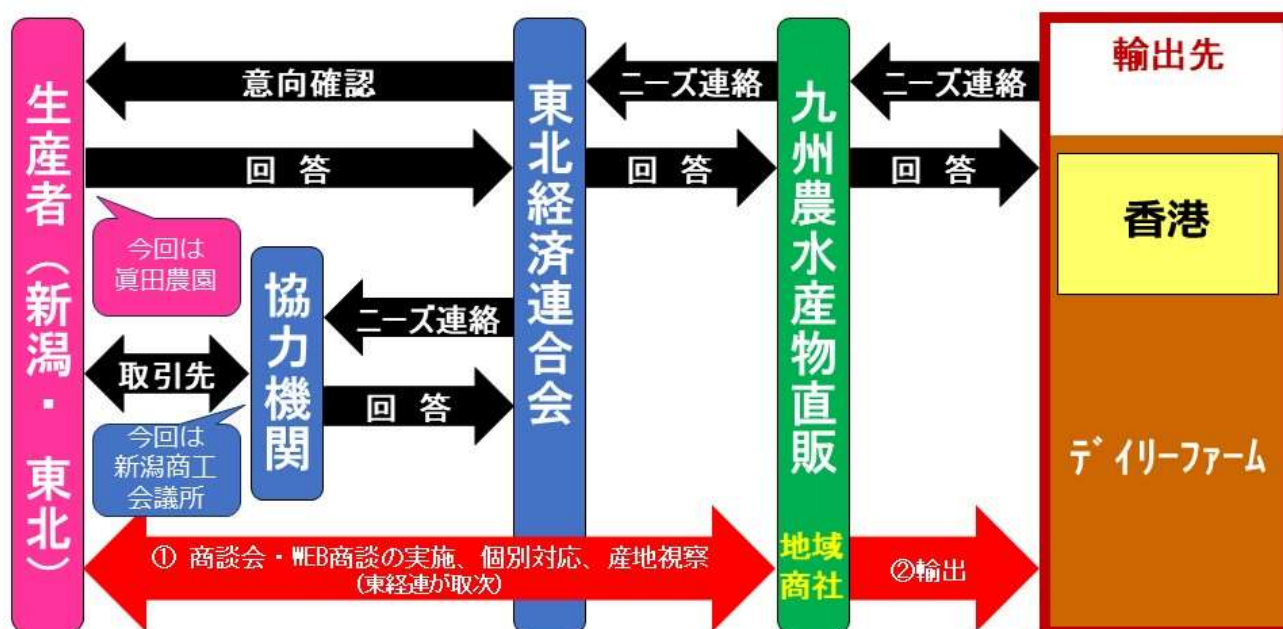
【輸出事業の位置付け】

- 東北経済連合会では、「ポストコロナ・5つの提言」に掲げる「提言4. 農産逸品の輸出拡大」に向けて取り組みを展開している。
- 輸出拡大は、人口減少下で地域経済の縮小が見込まれる中、新潟・東北の基幹産業の一つである第一次産業の活性化により、所得の向上や雇用の確保を図り、地域経済の活性化に資するものと考えている。



【事業スキーム図】

【東北と九州が連携した輸出事業スキーム】



東経連の役割

- ・海外のニーズに対して、新潟・東北域内の生産者・商品の選定と紹介
- ・新潟・東北域内生産者と九州農水産物直販との商談の設定

【参考 1】九州農水産物直販について

会 社 名	九州農水産物直販株式会社
代 表 者	小田 保（元：九州経済連合会 農林水産部長）
所 在 地	福岡市博多区博多駅前 2 丁目 12 番 10 号
設 立	2015 年 8 月 28 日
資 本 金	1,890 万円
業 務 内 容	農水畜産物の輸出入ほか
株 主	JA 宮崎経済連、(株) 麻生、九州電力 (株)、(株) 九電工、エスジーグリーンハウス (株)、日本通運 (株)、三井住友信託銀行 (株)

【参考 2】眞田農園について

名 称	株式会社眞田農園
代 表 者	代表取締役 眞田 政幸
所 在 地	新潟市西区赤塚 4053
設 立	2023 年 5 月 30 日法人化（眞田農園は歴史ある農園で、現代表の眞田政幸氏は創業者から数えて 20 代目に当たる。）
資 本 金	100 万円
業 務 内 容	青果物等の生産（メロン・スイカ・カブ・ネギなど）
作 付 け 面 積	5.3ha

【参考 3】デイルーフームについて

会 社 名	DFI Retail Group Holdings Limited (元：Dairy Farm International Holdings Limited)
業 種	小売業
主 要 株 主	Jardine Matheson Holdings
創 業 年	1886 年
年 商	約 3 兆 6 千億円
店 舗 展 開	約 10,000 店舗（コンビニ、美容、飲食店、スーパー、家具店などアジア 13 の国々で展開）
うちスーパーマーケット	約 1,700 店舗（香港では約 300 店舗を展開。他、中国、マレーシア、シンガポールなどで展開）

以 上